

## 平成 30 年度 夏休みプール開放アンケート結果（開放 37 校中 31 校、非開放校 56 校中 11 校から回答）

平成 30 年 10 月 10 日

（○称賛点、 △課題、 ※意見・提案・要望・質問、その他）

今夏のプール開放は少ない警備会社と猛暑という難題の中、ご苦労が多かったことでしょう。アンケートには各校のそれぞれの取組やご苦労、思いや悩み、そして熱意がたくさん記載されていました。

各校では別紙「実施後開放状況」と併せて、次年度開放に向けての参考にさせていただければ幸いです。

### 1 運営や全般的に

- 無事開放。子どもたちの思い出となる経験をさせられよかった
- 初めて受託された会社。ラッキーだった。来年もお願いした
- 警備会社確保に不安があったが、他校からの紹介で無事実施。
- 子どもたちの元気な姿・笑顔が印象に残る。体力向上にも効果があったと感じる。また、比較的厳しく指導したので、集団活動の規律やバディーの必要性も学んだと思う
- 時間帯を午後から午前、コマ数を 2 から 1、期間を 14 日から 10 日に変更。よかったの声多数
  - ・更衣室が暑かったので、クーラーの効く教室を更衣室にした
  - ・気温+水温=65° 以上は 20 分×2セット、70° 以上は中止にした
  - ・気温+水温=65° 以上は中止と設定。結果、開放は 2 日間/5 日のみとなった
  - ・警備会社減で、期間をずらしての開放となった。来年は希望日にできればよいが
- △専属監視員確保に苦労 →排除を否定はしないが、結果として子どもたちの楽しみを奪った
- △専属監視員確保に苦労（もっとフォローがほしかった） やっと個人契約でき実施（直接雇用）
- △警備会社確保に苦労
- △開放に至る道のりは大変だった。年々条件も厳しくなり保護者監視員のなり手も減る
- △天候や暑さで開放の実施・中止の判断等、会長の責任が重すぎると感じた
- △藻の発生での中止や気温上昇による中止が多くやや残念
- ※熱中症予防のため、気温+水温の上限の基準がほしい
- ※天候等状況による開放中止判断基準を市から提示してほしい

### 2 保護者監視員研修に関して

- 消防による研修はととも分かりやすく有り難い 緊急出動時に 1 人残留の配慮有
- 救急出動中、代わりに署長さんがしっかりした講習をしてくださった
- 消防署で実施。多くの保護者協力のもと意義ある講習ができた
- 全保護者参加でよかった
- △開催予定日に開催できないリスクが常にあった
- ※意識向上に向け、さらに工夫したい（全体研から班別研にし質問等しやすく）
- ※運営リーダー向けの研修・確認し合いを、さらに別にもしたい
- ※日常生活の中で危機対応知識・技能は大切。監視員以外にも研修を広げたい

### 3 監視に関して

#### <専属監視員>

- 全てきちんとしていただき、ありがたかった
- 毎日きちんと資格証を見せていただいた
- 例年の方で児童へはもちろん、保護者へのサポートも行き届き助かった

- 保護者OB・卒業生との直接雇用を実施 快い受諾としっかりした監視に感謝
- 例年通りスポーツ指導員に依頼 専門家ならではの指導
- 自覚をもって真摯な業務をしてくれた
- 初めての会社だが、しっかり教育を受けている印象
- 毎回、各コマ開始前に危険事項や注意点等を話され、危機意識の再確認ができた
- きっちりと監視、子どもへの接し方も上手、頼もしかった
- △保護者・児童に対し強すぎる口調、多少もめごととなった
- ※資格取得講習に、プールから救助（引き上げる）するプログラムも必要

#### <保護者監視員>

- 運営リーダーが監視員全体に常に声かけし、リーダー間の情報共有もしっかりなされていた
- 全保護者の約8割が就任 一人1回がほぼ定着 低学年の協力をさらに
- 徹底した監視と熱中症対策にも配慮
- 今年から、遊泳児童の保護者から全児童対象に開放。多数の保護者の協力に感謝
- 専属監視員を中心に、役割を自覚し良く動いた
- △絶対に事故を起こさないという覚悟の共有がまだ不十分（マニュアルを読んでない者あり）
- △人によってさまざま、意識の差があった
- ※体調の悪い子対応で一人があたる →予備も含め6人は必要。児童誘導係りは2人は必要
- ※保護者監視員5人の確保困難 4人に変更または学校規模に応じた人数への変更は無理か
- ※椅子に座っての監視は不可と聞いたが、暑さもあり座ってきちんと監視ではだめか

#### 4 開放中のこと

- 体調不良もなく良かった
- 鼻血や気分不良が出たが、専属監視員の適切な指示等でけがなく無事終了
- 体調不良児童に休憩や水分補給、親への連絡等、適切に対応
- 専属監視員のもと徹底して監視ができ、熱中症対策にも気を付けた
- 危険な行為をその都度注意。その後は自ら判断できた
- 入水直前に雷。学校と相談しすぐに中止決定。保護者に連絡しスムーズに帰宅誘導
  - ・熱中症対策で、終始注水・水まきをした
  - ・こまめに休憩時間を設けた
  - ・体調不良が一人出た。水分補給の大切さがわかった
  - ・熱中症対策で、暑い時間帯の1コマは短縮で実施
  - ・熱中症対策で、子ども・監視員に塩分タブレットを配った
  - ・暑さ指数と雷注意報を気にしつつ運営
- △監視員の熱中症が心配だった：
- △定員オーバーの子は運動場で遊び待機。プール外も気がかりだった
- ※午前・午後の両方泳ぐ者あり。数年前はダメと聞いていたが…

#### 5 経費に関して

- △どうにか警備会社と契約でき子どもも喜んだが、金額には思うところあり
- △適切に監視をいただいたのだが、限られた中で相見積もとれず高額となった
- ※熱中症対策で、助成金からパラソルやクーラーボックスを買えるようできないか

## 6 書類提出等に関して

※提出書類の簡素化を

## 7 次年度への意見・要望・提案等

※1年生保護者には、繰り返し趣旨や仕組みを伝える必要あり

※校内アンケートを実施し、反省や課題検討後、マニュアルの見直しもしたい

※暑さで他県では中止を聞く中実施でき、来年も開放希望が大半だった

※来年は開放日数を増やしたい

※できるだけ(運営・プール)委員会の負担を減らすようにしたい

※午前午後両方泳ぐ子がいた。泳ぐ回数も検討したい

※事故が起きたときの責任問題が心配

※受託警備会社の増を求む

※これまで通り業者委託ができるようお願い

※今年ペナルティ会社は、来年はどうなるかを早く教えてほしい

※警備会社が少ないとの情報が遅かった。2月の時点でもっと明確に言ってほしかった

※監視員への猛暑対策検討を。マニュアル通りだと体の負担大。開放への反対材料になる

※次年度も今年のように暑いなら、時間・期間等を検討する必要あり

※暑さ対策で午前中早く開放したい。何時から可能か？

※開放学校が少ない分1校当たり助成金増を願う。専属監視員を増やし保護者監視なしに

※諸手続きの一層の簡素化を

※年々、課題やルールが増え分かりにくい

※説明会、警備会社との交渉、マニュアル作成、講習会開催、酷暑での監視等々、負担大

しかも参加の大半は育成クラブの児童 →来年はしなくてもよいのではという声も

※保護者の参加・意識も低い中、市営プールを使った方がメリットを感じた

～以下は非開放校から～

※プール事故も想定しつつ検討を願う

※開放校からの取組状況や課題等を公表してほしい

※開放のリスクと負担を考え、今後慎重に検討したい

※現プールが改築されない限り、開放基準に満たないためプール開放はできない

※プール開放をすることで児童の体力向上が見込めるのか。EBPMで進めていただきたい

### <次年度開放予定>

回答があった学校の集計。特に非開放校からの回答が少なく、全体像は見えにくい。

H31年度予定	今年開放校 (31/37 回答)	今年非開放校 (11/56 回答)	計 42/92 回答
○開放する予定	22	1	23
△今後検討	9	6	15
×開放しない予定	0	4	4

～参考～ 過去の開放校数 H25 : 56 校、H26 : 68 校、H27 : 74 校、H28 : 39 校、H29 : 63 校、H30 : 37 校

(○H25年度は中学校1校を含む、○H28年度は熊本地震後、○H29年度は警備業者が5社・猛暑)